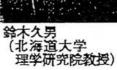
振興機構 『さくらサ イエンスプラ

•

友情と感激

第93回

海 道 大 活 動 告



8名と引率教員2名を初招カザフスタン共和国から高 へ校 日

です。高校生 留学する生徒も多数輩出しています。れており、イギリスやアメリカの有名大学へ ランキングでそれぞれ1位と2位にランクさPhysics-Mathematics Schoolとは、国内高校Intellectual School of AstanaとNational 2つの高校から招へ 界第9位の広大な国土を有しています。 の中央に270万平方キロメー 【歓迎レセプション】 ザフスタン共和国の高校生達を招へ北海道大学では平成29年2月6日~ カザフスタン共和国はユー 高校生たちが所属するNazarbayev (計8名) いしたのは各校から4名 引率数員2名、 計10名 いしま いう世 今回

各自がモデルロケットを製作 ジる行 特チャっ グネットを りか用のマ ながら、有な市にあり るチャレント開発研究 またロケッ 開発製品化 しており 有

U という小さ た。植松電 た。植松電

味を持つ生徒達は積極的に授業に参加し数学の模擬授業を行いました。理系に強北海道大学の教員が、物理、化学、生は大学の授業体験】 れました。 てい物

く與

精進料理をいただきました。

体験

さらに日本に対する異味が深まったよ理をいただきました。異文化体験を通寺(滝川市)にて禅と茶道を体験し、

うでした。

に関する紹介や伝統楽器ド

れ、和やかな雰囲気の中、プログラムがス関する紹介や伝統楽器ドンブラの演奏が行ザフスタンの招へい者からは自国や在籍校北海道大学の学生による学生生活の紹介、

【ロケッ

卜体験学習

植松電機

(赤平市

7

盛力のもと、講義、「永田晴紀教授」の室訪問を行いました を解する ر! を解する(ゆっくり大きな声で話しかけるこ容の紹介を一部ロボットが行いました。英語合情報科学講座(小野哲雄教授)では、研究内 内容で樳成されていました。続いて訪れた複赤平で見た小型ロケット燃料のデモと多彩な協力のもと、講義、クイズ、前日に訪問した での留学生活紹介では、 けられており、 工学研究院と情報科学研究科にお[研究室訪問] ロボット スウェー アンからの留学生による日本会話した生徒は大興奮でした。と高校生が会話する機会も設 の訪問では、 **訪問では、多くの学生の** 。宇宙システム工学分野 科学研究科において研究 より具体的に日本留

ロ の モ テ ア ル 散るとい 雪が舞 を見学し、 後、生徒の癖話の 植松社長 上げを行 際に打ち 後、 いました。 た後 はありま う天候で にく 実

プログラム	
188	カザフスタン免、礼幌到着
2日目	オリエンテーション、数辺レセプション
3日日	極松電捷(赤平市)にてロケット体験学習 奥様寺(滝川市)にて禅、精遊料理、茶道体験
4日日	ISP模擬授象(物理、数学) ラポビジット(情報科学研究科)、総合博物館児学
588	ISP模擬概要(化学、生物) ラポビジット(工学研究院)
6日日	スーパーサイエンスハイスクール北海道札幌開成高等学校と交流 作了式
フ目音	礼镇市内板光
8日日	札幌免、カザフスタンへ帰国

行いました。同校のOGでもある緊富香織准海道札幌開成高等学校との交流プログラムをスーパーサイエンスハイスクール指定校北 日本の 高校生との交流

ジを掴むことができ

たようで

文流を続けています。 突流を続けています。 突流を続けています。 のた生とはメールがに情報を提供すると言ってください。 数授によるOrigami Engine 和るカエルを作成。チームい がームを行いました。日本 がームを行いました。日本 がームを行いました。日本 がームを行いました。日本 の分野に応用されていると にとっても驚きでもありま にとっても驚きでもありま にとってもでした。 流は有意義なものでした。 流は有意義なものでした。 流は有意義なものでした。 たが、何人かの高校生は したが、何人かの高校生は したが、何人かの高校生は ・ 1 最を提供すると言ってくださいまい。 引率の先生達も今後、生徒に対しておし、北大の入試情報も送っていますたが、何人かの高校生は将来日本に来たが、何人かの高校生は将来日本に来たが、何人ののガザフスタンからの招へ受け入れ機関の効果 4 ア人離れした異国情ました。また日本のことは、私たちとのことは、私たちとのことは、私たちとのことは、私たちとのことは、私たちとのことは、私たちとのことは、私たちとのことは、私にの一般に対している。 いで点数を競うは所g(細胞折り マル等での がます。ま ないました。 でいました。 でいました。

ら、北海道大学では、留学生特別プログラム要な意味を持っています。このようなことか大学に在籍する日本人学生の人格形成にも重族、宗教の総図を大学内に実現することは、

年度に立ち上げました。これは、ated Science Program(ISP)

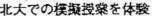
を2

の他データを総からの留学生にいます。人口約にの中で、世界

興禅寺にて茶道を体験



ット燃料のデモ



いして本当に良かったと感ない笑顔を見ますと、招へ送や引率の先生達の屈託の送や引率の先生達の屈託のけですが、来日した高校生大層な招へい意図があるわけですが、来のように、私たちに以上のように、私たちに

017年度に立ち上げました。これは、既存のアカデミックなコースに加えてビジネススクールの科目も取り入れることで、単にアカデミックな深い専門性だけでなく、リーダーシップ、組織形成力、交渉術などのジェネリックスキルを直接的に保証するプログラム提供には、知らをき起こす人材育成を目的ととをき起こす人材育成を目的とで、生のニーズに応えた、新して、留学ををき起こす人材育成を目的とい価値を付加したプログラム北海で、生のニーズに応えた、新したので、単にアカーがある。というまずらうりと ないという事情もあります。 そして今回の高校生の を招へいしていけたらと を招へいしていけたらだけ が、大学の多様性の確保 南アジアからではありま か、大学の多様性の確保 を招へいしていけたらじけ を招へいしていけたらと なく、ロシアの高校生の を招へいしていけたらと なく、ロシアの高校生の を招へいしていけたらと

来カザフスタンと日本を繋ぎ活躍する人材を和される方向でもあります。こうした中、将本もようやく更多。 変有意義なことであると思います。し育成することは、将来の日本に でないないない。 フと